

一発合格するには

しっかりと目標を持つ！
※何のために勉強するか

仕事と勉強の両立を
図るために

- 効率的に学習すること
- しっかりと学習計画を作る

※絶対に合格するぞ！
と強い信念を持つこと

平日の学習計画
週末の学習計画

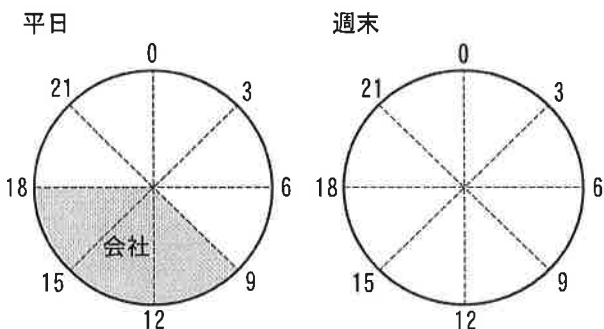
くじけそうになったら
今の気持ちを思い出すこと

合格するためには基本が大切

基本テキスト

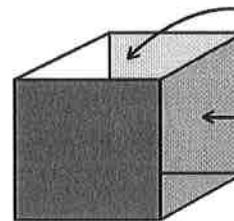


学習計画表



合格するには、テキストの
丸暗記だけではダメ！

問題は立体的に出題される



問題は色々な
角度から
出題される

労働基準法 39条1項

雇入れの日から6箇月間継続勤務し
全労働日の8割以上出勤した場合

↓
10日間の有給休暇を付与する

問題

全労働日の7割以上出勤した者には～

「8割」

効率よく学習する



講義を聴く前にテキストを一度読む



わからない・疑問に思う箇所を
ピックアップする



そこを中心に講義を聴き、講義の中で
納得をしていく

問題

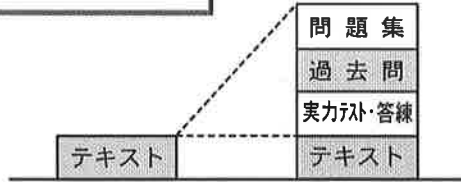
18歳未満の者が雇入れから6箇月継続勤務し
全労働日の8割以上出勤した場合の有給休暇の
日数は、使用者が労働基準監督署長の許可を受
けた場合は8日間でよい



こんな規定なし

120分

合格者との違い



基本的な知識は変わらない

効率よく学習するには学習順は重要
TACのカリキュラム



労災 } ⇒ 徴収法
雇用 }

健保 } ⇒ 厚生年金法
国年 }

〈注〉このほかに
法改正セミナー② 直前対策
中間模試 公開模試
があります

Point

※Plusではさらに
実力テストの前に
補講(計4回)があります

本試験では法改正対策がとても重要



法改正セミナー(全2回)
(カリキュラムに含まれています)

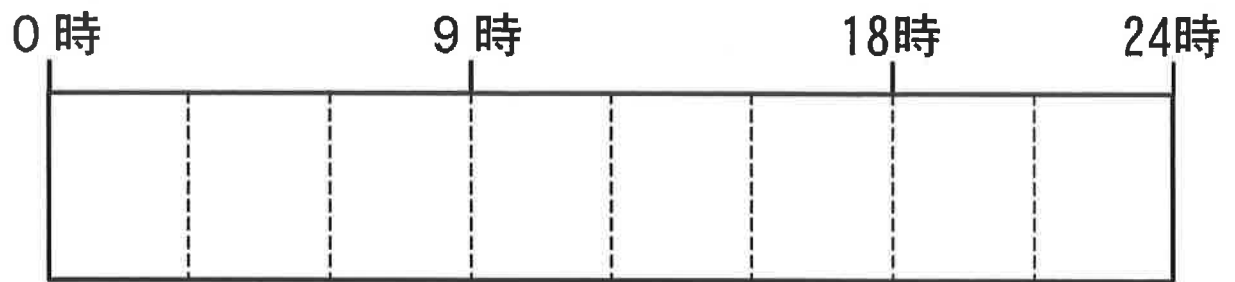
中間模試 } すべてカリキュラムに
公開模試 } 含まれています

Point

Plusでは通常オプションである
計算演習セミナー(全2回)
年金セミナー(全4回)
横断セミナー(全2回)
一般常識セミナー(全2回)
も含まれています

学習計画表

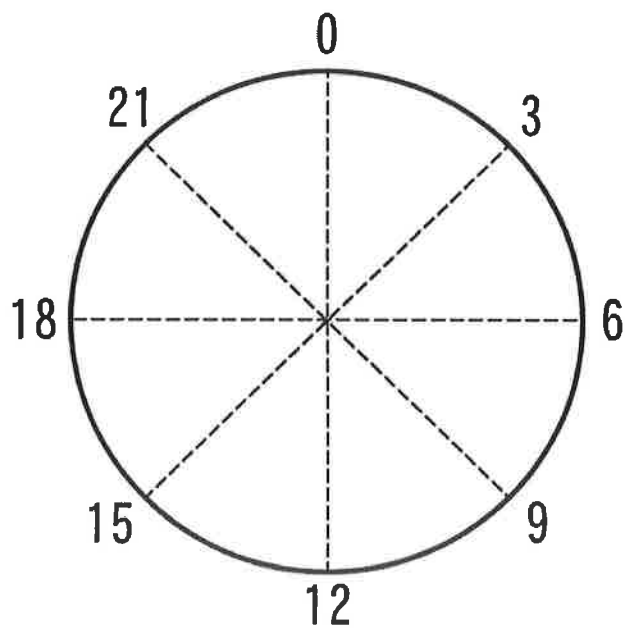
平日



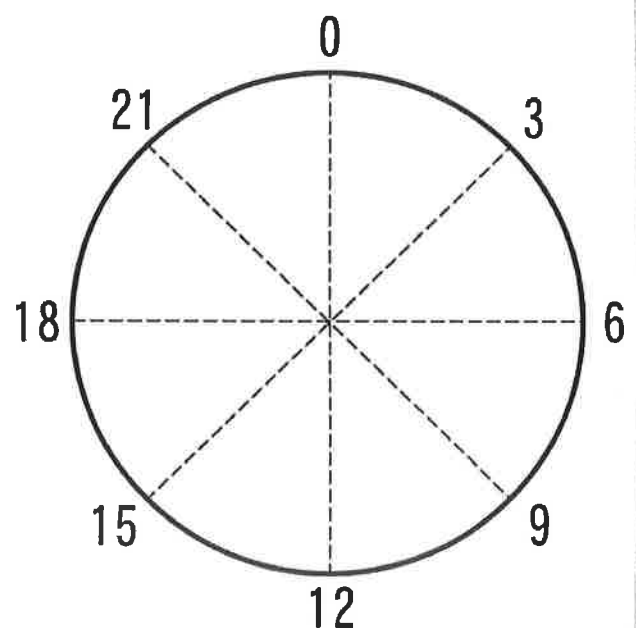
週末



平日



週末



~~~~~

こんにちは。2011 年合格の●●です。

私は宮島先生が担当する、総合本科生 Plus を受講し、晴れて難関の社労士試験に合格できました。

しかも、教室生ではなく、DVD 受講生でした。勉強を開始するとき、仕事の関係で、どうしても定期的に教室の授業に通い切れないため、DVD での受講を決めたのですが、かなり不安でした。今まで勉強したことがある分野ではなかったですし、試験までやりきれぬのか・・・

ところが、受講を開始したところ、宮島先生の授業がとても分かり易く、全く知識がない私のような受講生にも理解できるような工夫がいっぱいでした。

また、Plus は科目ごとにまとめの講義があり、そこでまた復習し、次にすすむ、というペースを作ることができました。理解をすると興味が湧き、更に宮島先生の授業への理解がすすむ、という好循環にのることができ、無事に試験を迎えることができました。

Plus のいいところは沢山ありますが、通常だとオプション講義になるものもついており、しかも、宮島先生の授業で受けられる、という点も見逃せません。社労士の勉強範囲は膨大であり、難関資格です。だからこそ、分かり易い、モチベーションが保てる、尊敬できる先生との出会い、これらが大切だと思います。

私は宮島先生の授業を受けることができ、本当に感謝しております。お勧めです。尚、DVD、通信の受講生は、合格祝賀会で宮島先生に初めてお会いする（DVD の授業では会っているのですが）といった不思議な体験をすることができますよ。

是非、一人でも多くの受講生が合格者の仲間に加わることを楽しみにしております。

~~~~~

人事労務の経験も知識も全くないまま社労士になりたいと思った日から試験を舐めてかかっていた自分は本屋で売ってる一般の試験本を購入して学習を始めたもののその難解な内容と合格率の低さに・・・、気がつくとも T A C の門を叩いていました。

T A C にはユニークな先生がいらっしゃいました。その名は宮島哲浩先生。

人間離れした早口と圧倒的な内容の濃さ。

リズムとジョークに満ちたわかりやすい講義。

慣れるまで時間がかかりましたが、慣れてしまえばそれは本当に楽しい時間となりました。

試験を受けると決めた時から、絶対に受かると決めていたので講義を聞くのが楽しくて仕方ありませんでした。

そんな中、学習期間も半ばを迎えた 2010 年の年末、脳に病が見つかりました。お医者様は手術の必要性和手術後の社会復帰には時間がかかるだろうとのことでした。それでも勉強をやめようとは一切思いませんでした。絶対に受かると決めていた以上、そんなことを言い訳にするつもりはなかったからです。

手術を無事終え、退院後はよりいっそう宮島講義に集中しました。

T A C の後半の講義はすべて答練です。テキストはすでにありません。宮島先生はテキストにかわるレジュメを縦横無尽に駆使して解説をしてくれます。難解な問題も図とマシンガンのような解説で次々とクリアな回答に導いてくれます。

そうして迎えた試験当日、レジュメだけを貼りつけたノート一冊を持って会場に臨みました。

試験は孤独です。学習期間中のそれなどものもしない孤独の中で問題と向き合わなくてはなりません。

そんな自分を負けない気持ちにさせてくれたのは、頑張ってきた合格への強い思いや学習をあきらめなかった自分の努力、そしてなにより講義をしてくださった先生を思い出すことでした。

そうして、迎えた 2011 年 11 月 11 日、合格発表の日。

官報に自分の受験番号が載っているのを見つけた瞬間、すべてが報われました。

迷惑をかけた家族、そしてどんな苦境に陥っても、たとえ投げ出したくなっても、絶対に諦めない心を養ってくれた宮島クラスのおかげでした。感謝しています。

受験のために支えになってくれる人を探すなら、T A C の門を叩いてみてはいかがでしょうか。

~~~~~

~~~~~  
これからのみなさまへ

社労士試験は運だ！と、よく言われます。

もしホントにそうなら、宮島先生に出会えたあなたは、すでに相当運がいい。

と、思い込んでみましょう。

宮島先生の素晴らしさ云々は、他の方が書いてくれると思うので、ちょっと違うお話。

H22の初めての本試験に択一1点不足の不合格となり、報告メールを先生に送ったところ、すぐに返信をいただきました（先生はまめな方です）。

そこには、驚愕の一文が

”これから1年の勉強はけして無駄にはなりません”

（『無駄になりません』との打ち間違え・・・）

むっ・・・無駄になる？・・・のでしょうか？

不合格で落ち込んでいた私を笑わせるために、先生はわざとこんなふうに書いてくださったのだと思い直し、二年目も宮島クラスにお世話になることに。

私が一番好きだったのは、「デジボ」でも「足トントン」でも、ましてや「あの髪型」でもなく、土曜日渋谷クラスの空気です。

本気にさせてくれる何かが、あの教室にはありました。

そして、H23は無事合格。

TACの2年間は無駄ではなく、合格も不合格もいろんな意味で勉強になりました。

人間、よい思い込みは大事ですね。

P.S. 受験生のころ、よく神様にお願いしていました。

”私が合格するまで、宮島先生が死にませんように！”

合格した今も、お元気で活躍されますようお祈りしています。

~~~~~  
合格まで3年かかりましたが、3年目で初めて宮島先生の総合本科を受講しました。宮島先生の情熱講義でわかったんです！！

合格のためのポイントが！！迷路に入っていて、「暗記してしまえ！！」と思って理屈や背景がわからなかった不得意科目の疑問点が、わかったんです！！58歳の私でも！！

なぜわかったのか？宮島先生が受験生の理解しにくい項目、勘違いしている点を熟知しているからです。

だからデジボにわかりやすく、講義ではより力を入れて、こちらから質問しなくても、日ごろから私が疑問点に思っていた点、いまいち理解できなかった点が理解できたのです。

何度も思いました「そーだったんだ！！」「なるほどね！」

先生の声、ボディアクション、靴を踏み込んで強調された点、今でも覚えています。

受験生の皆さん大丈夫です。しっかりと宮島先生の講義を聞けば必ず合格の栄冠は手にできます。頑張ってください。

~~~~~  
宮島先生の授業の特徴は何と言っても「明快」そのものです。

複雑な法律も、わかりやすく図解してくれたり、例題を出して初学者でも理解できるように解説してくれます。

何と言っても、宮島先生独特のゴロ合わせや、「宮島スペシャル」と称した計算式の効果は絶大！無理に覚えなくても、なぜか頭に残るのです。試験の緊張した状態の中でも、一発で答えを導き出せました。

また、宮島先生は熱く一生懸命に指導をしてくれます。どう勉強していいかわからない上に、仕事も忙しく、勉強との両立に悩んだ直前期に、試験までの残り時間の勉強方法を相談しました。間髪入れずに的確な答え。「今のあなたには〇〇！そして△△だけはどんなに忙しくても押さえるように！」その言葉を信じて、試験直前まで頑張った結果、見事合格できました！

宮島先生のおかげで1発合格ができたと思っています。宮島クラスで勉強できてよかったです。

民間企業の人事部門で働いていることから、社会保険や労務の法律を体系的に身につけたいと思ったことが、社労士を志したきっかけです。

仕事と勉強の両立を図りながら、合格してからも役に立つ“脳に残る勉強（＝本物の知識を身につける）”をしたかったため、独学ではなく、合格実績の高いTACの講義を体験受講してみました。

TAC講師陣の熱心さ、テキストの完成度の高さ、教室の立地条件の良さ等から、TAC社労士講座への申込みを体験受講の日に即決しました。

法律の勉強の初学者であった私が試験に合格し、身につけた知識を仕事に役立てられていることは、担当講師の宮島哲浩先生をはじめ、宮島クラスで出会って助け合った仲間達の支えがあったからと感謝しています。

私が試験勉強を通して気がついた、合格のポイントをお伝えします。
合格するには次の三点が肝心です。

①合格のために必要な知識の仕分け

宮島哲浩先生の講義は、過去問を徹底的に分析されたデータベースを基にした試験の傾向と対策を的確に踏まえた内容となっていました。

本試験で正答率の低かったいわゆる難問であっても、初見ではなくて落ち着いて解くことができました。

②図表を使ったインプット

社会保険の給付内容は多種多様なため、条文を読み込むだけでは、一時的な記憶になってしまいます。

宮島哲浩先生の講義中に配布されるレジュメには、図表が多く織り込んであったため、視的なインプットをすることができました。

③勉強仲間との出会い

宮島哲浩先生のクラスでは、定期的に飲み会が開催されていたため、多くの勉強仲間と出会うことができました。

長丁場な試験勉強では、同じ目標を持った仲間との切磋琢磨が、とても役に立ちます。

試験合格後も、有志で定例の勉強会を開催されており、情報交換のコミュニティが創られており、私にとって大切な“財産”となっています。

初めて宮島先生の授業を受けた時にはなんて早口な先生なんだろう！

とついていけるかなと不安でしたが、慣れると復習する時は1.5倍速にしても無理なく聞けるようになります。

わかりにくいところや特に大切なところはデジボ(レジュメ)に図解付きでまとめてあり、これはテキストの余白に貼ることができるサイズでできているので、サブノートが要らず全てをテキストに集約でき、復習する時あれこれ手を出さなくてもすむので時間短縮になりました。

また私はPlus(通学)でしたので計算セミナーが通常コースに含まれていました。

10年の厚生年金(選択)は計算問題でした。救済が入るくらいまわりができない中この時におさらいした宮島スペシャルのおかげで私は得点できたと思っています。

Plusにしてよかったです。

11も12もこれからたくさんのTMファミリーが増えますように！

~~~~~

宮島先生

10の●●です。

宮島クラスで受講した正直な感想を記載させていただきます。

合格体験記に使えるのであれば使ってください！

~~~~~

初学者の私はテキストを読んでもちんぷんかんぷん。

宮島先生の講義は、分かりやすいレジュメと板書があり、毎回頭の中がスッキリ整理されていきました！

初学者が最短で合格する勉強法のアドバイスもあり、初学で時間がない私でも効率よく学べました。

リズムカルな講義は、長時間にもかかわらずあっという間に時間が過ぎ、一度聞いたらクセになります♪
もちろん内容はかなり高度なものになるので集中力が必要になりますが、最後までしっかり聞くことができれば問題なく理解ができます。

宮島先生の講義を聞いた後に過去問を解くと、自分の理解度も確認でき、講義の内容がより確実に理解できるので是非オススメです！

~~~~~

宮島先生

●●と申します。

ご無沙汰しております。

2010年日曜日（池袋クラス）にて1年間大変お世話になりました。

お役に立つかわかりませんが、合格体験記を送らせて頂きます。

~~~~~

早いものでもう試験直前とのことですが、受講・勉強していたことを昨日の事のように思い出されます。

私は、2009年の6月に突然社労士の資格に興味を持ちましたが、自身の性格上通学しないと気持ちが続かないと考え、資格学校を調べました。

その中でTAC・宮島先生の評判が抜きん出ている事に気がつき、出遅れてしまったのではないかと焦りつつ急いでTACに電話したことを覚えています。

受講生の多さにも刺激を頂きましたが、とにかく引き込まれる先生の講義により辛いはずの勉強も苦にならず仕事と勉強の両立ができました。

特に本試験では、正常ではない精神状態で臨む事になりますが、問題を解きながら先生の講義（特に語呂合わせ）やデジボが頭に浮かび奇跡的に初年度で合格を勝ち取ることができました。

今にして思うことは、春ごろになると始まる答練時期に思うような成績を残せずに2年目も頭をよぎりましたが、素晴らしい先生と教材を信じてひたすらテキスト中心に進めたことが大きかったと思います。

先生の一言一言、そしてデジボは今でも頭に残っています。

ちなみに職場の自席には、デジボが貼られた全テキストが置いてあり今でも大活用しています。

皆様も宮島クラスにて素敵な一年となりますようにお祈りしています。

~~~~~

宮島先生のクラスは、先生のお人柄もあって、とにかく教室の雰囲気明るく毎週TACに通うのが楽しみでした。

先生の講義はテンポが良く、分かりやすく、また大事な論点は基本講義や答練を通じて何度も繰り返し説明して下さるので記憶に残りやすく、理解が深まりました。

社労士試験は、科目が多く範囲が広いので、一度覚えた事を忘れてしまう事もしばしばありますが、先生の講義に出席していれば、そんな事もフォローして頂けるので安心です。

使用した教材は、TACで配布された基本テキスト、過去問、暗記カードのみです。

私はこれだけで十分だと思います。勉強していて不安になると他社のものが気になると思いますが、手を広げず、同じ教材を何度も繰り返す事こそ、基礎力が身に付き、合格への近道だと思います。テキストは過去問はピンク、答練出題箇所は緑とマーカーで色分けし、書き込みやデジボを貼り情報を一冊に凝縮しました。択一式過去問を解く時は、常にテキストを横に置き周辺論点の確認をしました。また問題のひとつひ

とつの肢の分析をし、どこが正しいのか、間違っているのかを把握する作業も重視しました。選択式対策には、テキストの精読をし、試験直前には暗記カードを使用しました。私は、択一式、選択式は、全く別のものと捉え、直前期はバランスよく勉強時間を配分する事を心がけました。

答練や模試は、勉強の進度の目安として捉え、成績よりも受ける事の重要性を感じました。

そして復習には時間をかけました。

社労士試験は、ある程度時間をかけて勉強すれば、合格できる試験だと思いますが、どうせやるのであれば短期間で合格した方がいいに決まっています。

中には独学で勉強される方もいらっしゃいますが、やはり専門学校に通いプロの先生に習うのが一番だと思います。

宮島先生には、熱心にご指導頂いた事に感謝しています。先生の「ひとりでも多くの受講生を受からせたい」というお気持ちが常に伝わっていました。

そして勉強をするにあたり、最も大切な事は、「どうしても受かりたい」という強い気持ちを持ち続ける事です。思いがあれば、必ず道は開けます。私のそんな思いが、宮島先生を引き合わせてくれたのかもしれない。

~~~~~  
こんばんは、10の●●です。

先日は久しぶりにお話が出来て、嬉しかったです。

最近自宅のPCを立ち上げていなかったの、メールを確認するのが遅くなりました。

すみません、遅ればせながら合格体験記を送信いたします。

~~~~~  
私が想像していた社労士の受験講座は、地味なおじさん講師が条文をだらだら読んで解説している・・・そんなイメージでした。そんな時、たまたまTACの体験受講で宮島先生の講義を聞いて、その分かりやすさに感動しその日のうちに申込みをしました。

初学者でも挫折しないようにかみ砕いて説明してくださり、長時間でも飽きさせない展開の講義で毎回受講が楽しみでした。

宮島先生のクラスでなかったら、途中でやめてしまったかもしれません。

もし、難しそうだから・・・と受験を躊躇している方がいたら、ぜひ一度宮島先生の講義を聴いてもらいたと思います。それが合格への一番の近道です。

~~~~~  
宮島先生

宮島先生から告知いただいた『宮島クラスで学んで良かったこと』ですが、遅くなりましたがまだ間に合いますか？

とりあえず送信させていただきます。

過不足ありましたら、適宜お直ください。

~~~~~  
宮島先生は、熱意のこもった講義も勿論ですが、講義時に配布されるデジボが素晴らしいです。

小さな図の中にテキストの要点がぎゅっと詰め込まれており、情報量満載ながら、一目で内容がわかります。テキストの余白に貼り付けることができ、復習時にテキストを開くとパッと目に飛び込んでくるので瞬間的に内容を思い出せます。

また、先生は細かな部分でも手を抜くことなく解説してくださるので、テキストは全部押さえた！という安心感がもてるのもお勧めポイントの一つです。

講義は少し早口ですが、聞き逃さないように集中して講義を聴くことができるので記憶に残ると思いますよ。

~~~~~  
お疲れ様です。10の●●です。

合格体験記を送付します。

~~~~~  
とうとうこれを書くときがやってきました。

ガイダンスのとき、もらったことを思い出します。

宮島先生の授業は図（デジボ）を使った説明が多く、むずかしいことを簡単にしてくれます。これが最大の特徴で通信でも教室講義と変わらない図（デジボ）をつかった説明は理解しやすいはずです！！

最初は、講義のテンポが速いと感じるかもしれませんが、2、3回聞くとすぐに慣れてきてすーっと話の内容が入ってくるようになります。

僕がやっていた勉強方法の1つを紹介します。

わからない箇所があったときは、その箇所で先生がどういう説明をしていたかを思い出しながら、先生の口調を真似して、図（デジボ）を見て何回も声にだしていました。そうすることでだんだん理解できるようになりました。

みなさん、迷っているくらいなら挑戦してみてください。新しい可能性が広がります。

宮島先生を信じて受講してみてください。きっとすばらしい結果がついてきますよ。

~~~~~  
“参加型で眠くならない講義が最大の魅力”

理解重視の講義が本番での実践力につながりました。社労士試験は学習範囲が広く丸暗記では対応しきれません。

宮島先生の講義は、単にテキストの内容を解説するという一方的なものではなく、受講生に考えたり、イメージをさせながら理解へとつなげる“参加型講義”でした。

この“参加型講義”により、知識をインプットする際にしっかり理解することが出来たので、問題を解く際にも「～だから答えはこうだ！」と自信を持って解答することが出来ました。また、宮島先生は、声に抑揚を付けるだけではなく時には全身を使い？！アクティブなので緊張感が保たれ眠くならないのも魅力です。

TACのカリキュラムは、インプットからアウトプット、基礎から応用と学習の流れがしっかり構築されていますので他の教材へ目移りすることなく、安心して学習を進めることが出来ます。

これから社労士試験にチャレンジされる皆さんにはTACのカリキュラムと講師を信じて合格を勝ち取って頂けるものと思います。

~~~~~  
宮島先生

いつもお世話になっております。

毎日、暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？

間もなく、第43回社会保険労務士試験ですね。

今年も宮島クラスより一人でも多くの合格者が生まれることを祈念しております。

さて、宮島先生の講義の素晴らしさを享受させていただいた身として感謝の気持ちを含めて振り返りました。

改めて、合格まで諦めずに継続出来たのは宮島先生のお陰と感謝しております。

思い出すこと数年前、

無料説明会後の体験講義・・・個性的な雰囲気先生の・・・

「大丈夫か？」と感じながらも

あっという間の講義タイム・・・労働基準法 第一回目

『なんて面白い！！』『この先生、最高！！』＝宮島先生と受講を決めました。

息をもつかせぬ見事な質の高い講義内容に一目惚れです。

聴いていてワクワクしました。（友達と二人で盛り上がりました。）

職業柄、労働法は著名な諸先生の講義・研修を受けますが、宮島先生の講義は具体例が盛りだくさん。

その上、イメージ化し右脳に働きかけることで記憶も定着しやすくなるのかも・・・リズムもメリハリがあり集中力も継続することが出来ました。

つまらない法律(失礼^^;)のお勉強を払拭するものです。

これが、労働基準法に始まり、労働法科目、社会保険科目、一般常識の全科目、講義を受けることで、どんどん興味関心が深まり社会保障の意義の理解も深まり仕組みにも関心を持つことが出来ました。

合格するまで諦めずに継続することが出来たのも、何度聞いても『気付き』があり、毎回、必ずバージョンアップされる宮島先生の教えることに対する熱意と誠意のお陰と感謝しております。

1人でも多くの社会保険労務士の仲間が増えることを期待し、お勧めいたします。

2009年合格 秋

~~~~~

宮島先生

こんにちは。

07 合格の●●です。

先生は、お変わりなくいつまでも素敵ですね！

(ホントに不思議なくらいです。今度、秘訣を教えてください！)

さて、早速ですが、私の合格体験記をお送りしますので、よろしければ、これから勉強を始めようと思っている方々のご参考にさせていただければ幸いです。

私は仕事をしながらの通学でしたが、宮島先生のおかげで1年目で合格することができました。

宮島先生の講義は要点をまとめた資料を授業前に配布してくれるので、板書の内容をノートに書き写しているうちに内容を聞き逃してしまった！なんてことはありません。

私は仕事も忙しく、勉強のための時間をあまり取れなかったのですが、授業前に予習はしていきませんでした。が、宮島先生の説明はとてもわかりやすく、初学者の私でもスムーズに理解することができました。

(但し、予習はしませんでした。が、できる限り復習は行いました。なかでも、できなかった問題を繰り返し復習しました。)

時間もなく、暗記も苦手な私が1年目に合格できたのは、宮島先生のおかげです。

(数字の暗記も宮島先生のオリジナルゴロ合わせのおかげで覚えることができました。)

宮島先生、本当にありがとうございました。

受験生時代は、精神的に苦しく、何度かもう無理かも・・・と思いましたが、先生がいつも授業で「まだ今から頑張れば大丈夫だから」と私たちを励まして下さったので、最後まで頑張ることができました。

一人でも多くの方が、先生の講義をきいて合格できますように！

~~~~~

宮島先生、こんにちは。

10●●です。

合格体験記のようなものをちょっと考えてみました。

稚拙な文章ですがお役にたてれば幸いです。

~~~~~

2度目の受験で、無事合格することができました。

これも、2年間宮島先生を信じて頑張ったおかげだと思っています。

宮島先生はいつも私たち受講生の顔を見ながら講義をされる先生です。

知識の詰まった内容の濃い講義ですが、わかりやすいデジボと丁寧な説明で、私でも講義についていくことができました。

講義後の質問にも、こちらが理解できるまで熱心に教えてくださいました。

宮島先生の講義を受けたら絶対に理解できる！！という安心感が、簡単とはいえない試験勉強をあきらめずに続けられた理由のひとつだと思います。

また、宮島先生のクラスはとても雰囲気がよく、懇親会の開催等受講生同士の交流の機会もありました。仲間ができることでモチベーションアップにつながるし、情報の共有もできました。

合格して社労士として登録した今でも受講生時代に出会った仲間たちは私の宝物です。

社労士試験は国家試験の中でも合格率が10%前後の難関試験ですが、TACと宮島先生を信じて努力あるのみ、そして努力は必ず報われるということ、身をもって経験しました。

追伸：年金アドバイザー、受けてみようかなと思ってます。受付で宮島先生に勧められた！とアピールしてきます(^▽^)v

~~~~~

宮島先生

こんばんは、07の●●です。

標記の件、遅くなりまして大変申し訳ありません。

以下に作成しましたのでよろしくお願いします☆

~~~~~

私はどうしても1年で合格したいという強い気持ちがありました。

それは、毎年法改正が入ること、そしてプライベートや睡眠を削っての勉強は体力的にも1年が限度かなと思ったためです。

そこで学校に通うことを決め、一番合格率の高いTACに決めました。

次に先生の選択ですが、「宮島先生の講義が一番いいよ」という噂を聞き宮島先生の講座にしました。

初日の講義を受け、これは当たり！と確信しました。

宮島先生の講義のポイントは以下の3点です。

1. 明快かつ的確で試験に必ず出る、出る、出る可能性ありと、重要度が分かる。

また過去にどのように出題され、今年はどのように出題される可能性があるかと教えてくれる。

2. 法的に解釈が難しいものでも、噛み砕いて図などで説明してくれる。

3. なぜそういう法律になったのか等、根拠や経緯を説明してくれ単に暗記にならない。

つまり、重要度が分かり、かつ説明が明快で理解が深まる（単に暗記にならない）ということです。

私は宮島先生のおかげで無事に1年で合格することが出来ました。

先生の講義を受けていなかったら合格は出来ていなかったと思います。

私が言えることは1つだけです！

「宮島先生の講義」と「合格するという意志」があれば必ず合格できます。

ですので強い意志をもって宮島先生の講義を受けて是非合格してください。

健闘をお祈りしています。

~~~~~

10の●●です。

宮島クラスで勉強して良かったこと、それはレジュメである「デジボ」の存在と超熱心な講義です。

まずデジボですが、テキストを最初に読んだ時には難しく感じた法律も、宮島先生の情熱を注いだ「デジボ」を参考にすると難解な法律も理解しやすくなり、しかも記憶に残りやすいので、復習の際に大変役立ちました。デジボは縮小しても見えるので、テキストに貼れるので便利です。

また、重点項目は「これでもか！」というくらいの時間を割いて、丁寧に説明していただけたので、例えば厚生年金の高在老・低在老・・・など一見？な箇所でも聞いているうちに「なるほど！」と理解できていきます（もちろん、予習・復習をやったのかもしれませんが）。

また、同じクラスになった縁を大事にする宮島先生は、飲み会を開催してくれます。

ここで新たな出会いもあり、苦しい時期を一緒に乗り越えていける仲間が出来ます。

~~~~~

宮島先生

こんばんは。09●●です。

さて、宮島先生からのご依頼について、返信が遅くなり申し訳ございませんでした。

簡単ではありますが、下記の文面にて合格体験記とさせていただきます。

社労士を本気でチャレンジし、しかも、絶対に合格したいのであれば、自信を持って宮島クラスをお勧めします！その理由は、宮島クラスにしかない3つの特典があるからです。

特典1. 圧倒的な情熱

TACの中で5名の先生の授業を経験しましたが、宮島先生の講義が最も分かりやすく、集中できました。それは、宮島先生から受講者への情熱を強く感じられたからだと思います。

特典2. 絶対に理解できる講義

TACで配布する教材以外に、宮島クラスオリジナルの補足資料（デジボ）があります。

このデジボは、合格するための重要事項が分かりやすく端的にまとまっているため、テキストを読む時間を少しでも減らして効率的に学習することができました。

テキストの予習⇒宮島先生の講義⇒デジボで要点チェックにて、知識を定着させることができ、初学でゼロからスタートし、かつ、仕事が多忙で十分に学習時間を確保できなかった私でも一発で合格することができました。

特典3. 幅広い合格後の人脈

見事に合格すれば、宮島先生主宰の勉強会があります。

世代や分野を超えたバラエティ豊かな方々と交流することができ、とても有意義です。

宮島先生のクラスで共に頑張った方々ばかりなので、勉強会の雰囲気は抜群によく、楽しみながら知識を深めることができます。

ぜひ、宮島クラスを選択し、合格を掴み取ってください！！

~~~~~

宮島先生へ

09年度、10年度にお世話になりました、●●と申します。

表題の件につきまして、大変遅くなりましたが送付させていただきます。

何かのお役にたてば幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。

<以下、宮島先生の講義を受講しての感想です>

私は08年度は横浜校の速習本科を受講、09年度に横浜校の総合本科で初めて宮島先生にお世話になりました。

10年度は主に渋谷校で直前期のみ講義を受講させていただき、この年になんとか合格することができました。

宮島先生の講義は、とても分かりやすいレジュメ（デジボ）が準備されていたので、板書に夢中になって話を聞き逃すということがなく、講義中は内容を理解することに全力を注ぐことができました。

また、講義においては、毎回先生の「熱意」をひしひしと感ずることができました。

どんなに講義の内容が難しくても、模試の点数が悪くても、モチベーションを落とすことなく、苦しい日々を最後まで走りぬくことができたのは、先生の「熱意」のおかげではないかと思っています。

分かりやすく丁寧に、そして熱意をもって教えていただけたこと、本当に感謝しています。ありがとうございました。

宮島先生の講義を通して、多くの方にも同じ感動を味わっていただけたらと思います。

~~~~~

宮島先生、こんにちは。

新宿校・渋谷校でお世話になりました10合格の●●です。

今年の本試験も終わり、一段落・・・ともいわずに、相変わらずお忙しい日々をお過ごしのことと思いますが、お身体にはくれぐれもお気をつけください。

私事ですが、6月に出産致しまして、育児に追われる日々ですが、実際に育休当事者になり、健保や雇用保険等、社労士の勉強をしておいて本当によかったと思っています。

その節は大変ありがとうございました。

さて、ご依頼いただきました合格体験記ですが、大変遅くなってしまい申し訳ありません。

もう締め切ってしまっていたらすみません。

当時の感謝の意も込め、簡単ではありますが、投稿させていただきます。

社労士の資格を目指す事となり、何気なく、TACの社労士講座の無料体験入学に足を運んだところ、そこで講師をされていたのが宮島先生でした。

無料体験入学という事もあり、何の気構えもなく教室に入ったら、その教室は既に満席で、驚きもつかの間、講義が始まると、その理由はすぐにわかりました。

リズムのある講義に吸い込まれるように聞き入り、あっという間に休憩時間になったのを、今でもはっきり覚えています。

その後、宮島先生の講義が、毎回楽しみになったのは言うまでもありません。

結局私は、2年間宮島先生のお世話になる事になったのですが、その間、どんなにくだらな質問にも、丁寧に答えていただいたり、テンポの良い講義の中に、ちょっとくだらない?!ゴロ合わせがあったり、何といても、色んなところに出てくる「宮島スペシャル」。

すべてが、本試験で力を発揮してくれました！

宮島先生の講義が受けられて、本当に良かったと思っています。

これからも、多くの受講生に、宮島先生の吸い込まれるような講義で、合格を掴んでほしいと思います。

~~~~~  
(長すぎてすみません・・・笑って読み流してください)

TACのWebサイトで、社労士のガイダンスを見て、宮島先生に引き込まれてから、1年間、TACと宮島先生だけを信じて、勉強に励みました。

最初は、教室で5時間(日曜クラス)も、座ってられるのか?という勉強とは違った不安から始まり、ミニテストや答練では、惨敗。模試に至っては、回を重ねるごとにランクが下がっていく・・・という「合格」とは程遠い、苦しい一年を過ごしていました。 恥ずかしながら、とても丁寧に解説をしてくださっている内容が、聞いているときには、理解できたつもりになってしまうのですが、問題演習をすると、まったく理解できておらず、しかも、何がわからないのか、自分でもわからなかったのです。先生にどう質問していいのか?こんなこと質問してもいいのか?社労士の問題以前に、問題文の日本語の意味がわからない…。なんて、言ってしまうていいのか?

と、散々悩みましたが、ある日、授業終了後先生が話しかけてくださり、勇気を出して、質問してみました。きっと、先生も「この子、何言ってるんだらうな?」と思ったに違いありません。

それでも、一生懸命、質問のはしっこから、小さく問題を切り崩して、丁寧に答えてくださり、最後には「わからないことをわかってもらうために私がいるんですよ」とおっしゃってくださいました。何があっても先生についていこう!と決めた瞬間です。

学生時代から、机に向かって勉強をしたことがなく、今まで何もかも中途半端で、諦め癖がついていた私が、試験当日まで諦めずにTACの教材のみで勉強を続けていたのは、本当に宮島先生への信仰だったのかもしれません。

宮島先生に出会ったみなさん、TACと宮島先生を信じていれば、必ず合格は勝ち取れると思います!来年の夏、先生とがっちり握手ができるようお祈りしております。

(おまけ)

過去問に手がつかないというお悩みの方へ

過去問は5回転くらいやりました!とか、過去問に出てくる問題は完璧に解けるようになりました!とか、インターネット上で当たり前のように書かれていました。

が、私は過去問がまったく解けず、試験形式の問題に拒絶反応がでてしまい、2科目くらいで挫折。

先が思いやられる・・・と思った私は、過去問には手をつけず、問題が一問ずつ個別になっている、『合格のツボ(択一対策)』のみを大活用しました。

最終的に、TACからいただいた、5年分の過去問をやったのは、試験1週間前に各年、1回ずつのみでした。そのころには、愛読書にしていた「ツボ」のおかげか、スムーズとはいかないまでも、一通り冷静に問題に目を通す力がついており、不思議と理由つきで答えを選んでいけるようになっていました。過去問が解けない!と思ったら、「ツボ」をお勧めします!!

宮島先生、こんにちは。今年の社労士試験もうすぐですね。

私は、今月から会計事務所に転職し、新しい環境に慣れるため必死です。今後、徐々に顧問先の給与計算や労務相談の対応をしていくようなので、いざという時に困らないように手続きや助成金の勉強もしていかなければと思っています。

さて、去年の合格体験記ですが、お送りさせていただきます。

#### <合格体験記>

私は3回目での合格なので、これから勉強を始める方にとって役に立つかわかりませんが、参考にいただければと思います。

受験にあたってよかったと思うことはいくつかありますが、次の3点が大きかったと思います。

まず第一に勉強仲間を作ることの大切さです。教室でいきなり知らない人に話しかけるのは難しいので、先生が懇親会を主催してくれたときは、必ず参加するほうが良いと思います。できれば、実力テストの上位に入るような人と友達になれると、会話の中で、勉強の仕方や問題の考え方など参考にできることが多くあります。また、良い意味でのライバル意識を持つことで、モチベーションアップにつながります。8月の最初に授業が終了してしまい、試験までの約1ヶ月間は孤独な勉強生活になりますが、そんなときに勉強仲間がいると心の支えになります。（これはかなり大きいです）

第二に、勉強の仕方です。通常は、予習はしなくても良いから復習をしっかりしなさいと言われていますが、私は予習派でした。授業の前にテキストを一通り読んでおくと、何について話されているのか流れがわかりますので、先生の授業に集中できます。授業を聞いても理解できなかったところや、新たに出てきた疑問点は、授業の後にその場で解決することができます。

宮島先生の授業はアクションが大きいので、授業中にテキストはあまり見ずに先生を集中して見てみると、音声とアクションの両方からのインプットで、強烈に記憶に定着します。（実際に問題を解いているときに頭の中で先生の声とアクションがぐるぐるしているときがあります。）

第三に、過去問はぜったいに解くことです。前の2回の受験のときは、仕事が忙しくてとても過去問まで手が出せずにいましたが、3回目の受験の時は、直前期はテキストはほとんど見ずに、実力テスト、答練、過去問だけを何回も解くようにしました。テキストをしっかり読んで理解を深めてから過去問など解きたくてありますが、これだと直前で時間がなくなってしまいます。（過去2回の私の不合格はこれが原因だと思っています）あとは択一式を解くときは、〇〇だから合っているとか理由を考えて、理由を含めて回答が合っているかを確認しました。

以上、だらだらと書いてしまいましたが、少しでも参考になるところがあり、勉強に役立つことができれば幸いです。

宮島先生

ご無沙汰しております。●●●●です。

TMネットワークのメールを拝見しました。お役にたてるかわかりませんが、私の体験記をお送りいたします。

私は、仕事の関係で、平日夜（新宿）と日曜（池袋）の宮島先生の講義を受けて、1年目で合格することができました。

勉強を始めたばかりのころは、耳慣れない言葉や言い回しも多く、テキストを読んでも、すんなり頭に入らないこともあり、不安に思っていました。宮島先生の講義では、テキストの重点項目等をとてもわかりやすく、整理して説明してくださるので、初学者の私でも理解することができました。

難しい箇所は、講義の中でも繰り返し説明してくださいます。

仕事と勉強の両立で、挫けそうになることも多々ありましたが、宮島先生の「まだまだ、これからでも大丈夫ですよ！」というお言葉に、何度も励まされて、本試験まで頑張ることができました。

合格後は、やりたかった人事の職種に転職することもできて、

宮島先生に、心から感謝しています。

(ちなみにTACのテキストは今でも、会社で虎の巻として使っています。)  
皆さん、10年度の社会保険労務士の合格に向けて、是非、頑張ってください！

今年の本試験もいよいよ来週の日曜日ですよ！  
宮島先生が試験直前にくださった鉛筆は、いまでも私の大切なお守りです。  
(本当にありがとうございました。)

~~~~~  
宮島先生

こんばんわ。
池袋日曜クラスを受講しておりました、●●●●と申します。
合格体験記募集！とのことでしたので、私も体験記(というほど立派なものでなくてすみません・・・)を書いてみました。書いていて、これからはじめる人向けには、こんなの使えなさそう・・・と思ってしまいましたが、ボツ覚悟でお送りさせていただきます。

私のようなできの悪い生徒でも、先生の魔法にかかれば、ギリギリでも合格することができるんですよ！と、ぜひぜひ暗示してみてください(笑)

先生のクラスから、多くの合格者がでますように！！
毎日暑い日が続きますが、お体ご自愛くださいね。
それでは、失礼しますm(_ _)m

追記

再来週、●●さんと一緒に事務指定講習に参加してきます。
久々に、TACのみんなとも会える予感で楽しみです。

~~~~~  
宮島先生

こんばんは。●●●●●です。  
遅くなってしまい申し訳ありません。  
簡単ですが、私の体験記が参考になれば嬉しく思います。

#### ★体験記★

私は一発合格しなかったためTACに通いましたが、それが合格のカギになったと思います。  
社労士試験は範囲が広いため、要領よく勉強していかなければなりません。  
その点、宮島先生の講義はどこが重要なのか、本試験ではどういう引っ掛けをしてくるのか、また参考例題等も示してくださり、本試験合格に直結したものだと思います。  
一発合格されたい方は是非是非TACのカリキュラムを信じ、先生の講義について行ってください。  
眠い時、友達と遊びたい時、疲れている時など色々あると思いますが、合格した後の自分を想像し頑張ってください。  
皆さんが来年合格することを心からお祈りいたします。

~~~~~  
●●●です。
合格体験記メモを送ります。
どうぞご活用ください！

~~~~~  
社労士合格の秘訣は、なんと言っても「モチベーションを高く持つこと」と「問題を多く解くこと」とです。

社労士合格のためにTAC(資格の学校)を選ぶことは最も効率的な選択肢です。  
なぜなら、合格へ向けたスケジュールと最新のテキスト・最良の講義がすでに用意されているからです。

あとは、本人のモチベーションを高く保つことと、問題を解くというアウトプットの量を他の受験生以上にやりきることです。

宮島クラスであれば、大勢の仲間達と受験日まで高いモチベーションを保つことができるので、後はとにかく問題を数多く解き、自信をもって受験するだけです！

皆さんの合格を心よりご祈念します！

~~~~~  
宮島先生 こんにちは。●●です。

今年度もいよいよ本試験が迫ってきましたね。

一年間、講義お疲れ様でした。

合格体験記とのことで、少しでもこれからチャレンジされる方への参考になればと思い、遅くなりましたがご連絡させていただきました。

私は3年間、宮島先生にお世話になりました。

この勉強を始めるにあたっては、不安でなかなか気持ちが固まらず一歩が踏み出せなかったことをよく覚えていてます。

誰でも新しいことを始める時って、少し勇気が要りますよね。

法律の勉強もしたことがないし、資格試験のために学校に通うのも初めてのことで不安でいっぱいでしたが、そんな気持ちはすぐに消えました。

まず、先生の講義はとてもわかりやすく、毎回新しい知識が頭に入ってくることが楽しくなりました。

そして、当初は全く予想していなかったことでしたが、励まし合い、よい刺激を与えてくれる大切な仲間たちにも出会えました。

仲間の存在は想像以上に大きく、勉強中はもちろん、合格した今も大切な存在となっています。

今迷っている方や不安な方もいらっしゃると思いますが、大丈夫です！

合格までは簡単な道のりではないかもしれませんが。

でも、なぜこの勉強をしようと思ったのか、その最初の気持ちさえ忘れなければ、きっと頑張れるはずですよ。

そして、先生はもちろん、これから出会う仲間も強力にサポートしてくれると思います。

ぜひ、それぞれの目標へ向かっての第一歩を踏み出して、さらなる自分を手に入れていただきたいと思います。

そして、合格後、一人でも多くの方の素敵な笑顔に出会えることを楽しみにしております。

ぜひ頑張ってください！！

つたない文章ですが・・・、送付させていただきます。

よろしくお願いいたします。

~~~~~  
宮島先生

ご無沙汰しています。●●です。

メールが遅くなり申し訳ありません。

合格の秘訣とのことで、色々考えたのですが・・・

これといって秘訣というものが見つかりません。

ただ、入門講義が始まるまで法律なんて一切勉強したことがなかった私が一度で合格できたのは、

- ①一緒に頑張る仲間に出会えたこと
- ②TACのテキストと過去問以外に手をつけなかったこと
- ③試験当日は今までしてきたことに自信を持って冷静に取り組めたこと

だったと思います。

ありきたりなことでごめんなさい。

飲み会を通じて一緒に勉強する仲間ができ、またお互いにいい意味で意識しあえたので、良い結果が出せたと思っています。

毎週一人で講義に通っていただけでは、きっと合格できなかったと思います。

一緒に勉強した仲間たちは、合格してから情報交換などができるので、ぜひ、同じ目標に向かって頑張れる仲間を見つけるといいと思います。

~~~~~

宮島先生

ご無沙汰しておりますが、お元気でご活躍のことと存じます。

早いものでまた試験直前期になったんですね。

私の体験談が役立つかどうか分かりませんが、特に中高年の方の参考になればと思い、少々メモしてみます。

私自身は長年、経理業務に携わってきたため、社会保険や労働法についての知識も経験も全くありませんでしたが、自分の世界を広げるために社労士試験に挑戦してみました。

勉強を始めるにあたっての心構えというか、心がけたことは次の三点です。

1. 定年近くになっても知的好奇心を持ちつづけること。
2. 自分の勉強スタイルに合った、信頼できる講師を探すこと。
3. 同じ目的に向かってチャレンジしている若い人達と交流すること。

実際の勉強方法として実践してきましたのは、以下のようなごくごく当り前のことばかりです。

1. 予習と復習は必ず行う。特に復習に際しては、講師の説明事項を中心にテキストを読み返しなが、過去問にあたる。
2. 疑問点は、講師への質問により、なるべく早く解消する。
3. 年齢的なこともあり、内容理解に努め、暗記には頼らない。繰り返し行われるテストの前にテキストに目を通せば、覚えようという気が無くとも、大事なことは頭にインプットされる。

講義に出席して講師の説明になるほどと頷き、講義の前後には仲間と談笑し、たまには気分転換を兼ねて飲みに行くというようなTACへの通学は私にとっては楽しい時間でした。

受験勉強を振り返って、良かったと思うことはいくつもあります。

1. 仕事と勉強の両方で充実した時間を送れたこと。
2. 講師の先生を始め、若い仲間との絆ができたこと。
3. 知識、情報量が飛躍的に増え、自分の今後の生活に役立つとともに、社会保険等に関する時事問題に興味、関心を抱くようになったこと。

大勢の方が社労士試験に挑戦され、仲間がどんどん増えることを期待して、私の体験談といたします。

~~~~~

私は交通事故の後遺症を抱えながら仕事をしている間にうつ状態になり、仕事を辞めました。

その後半年間、外に出ることも出来ずこのままでは自分がダメになると思い、勇気を振り絞ってTAC社労士講座の門を叩きました。

社労士の受験を決意したのは、生涯、自分の身体と向き合いながら社会保険事務に携わりたいと思ったからです。そして数ある受験指導校の中からTACを選択したのはパンフレットに合格祝賀会の写真や合格者のインタビューが掲載されているのを見て、今はとても辛く苦しいが、自分もいつかこの様に（合格者に）なるんだと強く心を奮い立たせてくれたインスピレーションとテキスト等の教材が他校よりも明瞭で理解しやすく、勉強を継続出来ると確信した為です。

1年目は講義に出ることもままならずでしたが、宮島先生や受験仲間に支えられ本試験までたどりついたという感じで、勉強は集中したものではなかったため記念受験に終わったという不完全燃焼。

しかし、自分にとってはここまでうつ病を抱えながら来れたことに少し安堵しておりました。その後、2年間は病気が悪化し、勉強どころではなく、いつも最悪のことばかり考えるという自暴自棄の毎日に葛藤していました。そんな中、唯一の救いが、忙しい講義の合間を縫って宮島先生から頂いた頑張れという励まし

のメールでした。その甲斐あって再起を強く抱かせて頂き、翌年からスケジュールを立てて必死に勉強をしました。

講座が始まる秋10月～12月は労基に集中してテキストと過去問を解いて正月は遊び、1月～6月まではテキストを中心にインプットを何度も繰り返し、一科目終わったら新しい科目と並行しながらテキストのインプットと終わった科目の過去問の繰り返しをし、講義がある日は必ず事前に予習し、講義が終わったら復習する。私の場合予習と復習の割合は全体を5とすると3:2(予習:復習)でした。またやる気を持続させる為に実力テストで上位に入ることを目指し、その結果を楽しみにできるように自分に気合を入れていました。

6月～は答練や模試が始まり勉強する量も増え、時間がいくらあっても足りない位に時間が進みます。今までのテキストや少量の過去問、ミニテスト等に加え答練、模試の本格的なアウトプットを今までの力でどこまで解けるか、また選択式対策もこれらの問題から反復し、模試では全体の順位を強く認識し、次の模試では更にいい結果を出すように過去問、答練、ミニテスト、終了した模試等の問題を繰り返し解いて実力をつけていきました。

本試験の直前1ヶ月は答練と過去問、実力テストを中心に1日1科目をこなしていき、最後の2週間は答練、模試、実力テスト、過去問を朝8時から休憩を挟みながら夕飯直前まで集中して行い、夕食後は一般常識セミナーや横断セミナー、一般常識の問題など一般常識対策に時間を充てて夜11時ごろまでやり、これを試験前日まで繰り返しました。

これで再起を決意した翌年は2度目の受験となり、結果は選択式36点、択一式39点(基準点以下なし)でその年選択式はクリアしましたが、択一の合格ライン42点に3点及ばず不合格になりました。この年は自分にとっては本格的な勉強をした真の1回目の受験でありました。(実際は記念受験を含めると2回目の受験です。)

その翌年、再度チャレンジし昨年より更に目標を高く掲げ、実力テストはトップを目指し、昨年と同じ勉強内容を繰り返し実力テスト4回の内2回は1位を取ることができました。

また、模試も積極的に受験しました。模試は消化不良にならない程度で受験することをお勧めします。

模試の結果に一喜一憂することはあまり芳しいことではありませんが、こんなことも見落としていたのか、と必ず確認させられますし、模試を一つの区切りとして勉強のペース配分を作ったりしながら本試験までリードしてくれるからです。

模試は唯一、本試験と同じ時間配分で問題を解くことになりますので、長時間の択一式の問題を解くペース配分なども体験できます。

私は前年と同じ勉強方法では平成17年度の本試験で合格することができました。

結果は選択式34点、択一式52点でした。この1年でかなり実力が伸びました。

私の場合、記念受験を除けばこの勉強方法で実質2年で合格できたことになります。

(私は合格まで3回受験しました。)

プラス教材として市販の一問一答の問題集を購入されることをお勧めいたします。一問一答を何度も回すことで必ず実力は上がります。

また、この勉強を始めて感じたことは、あまり枝葉のことに気をとられないということです。

インプットの段階であまりこれはどうなんだと考えている間に次の科目が来てしまいます。

考え方に固執しすぎると合格という目的からいつのまにか遠のいてしまっているなんてこともあります。気をつけてください。

私は現在、あの地獄のような時間が嘘だったかのように健康を回復することができました。

これもTACを選択し、宮島先生にお会いすることが出来たからこそここまで来れたと思っています。

最後まで負けないという強い信念を持ってすれば必ず成功はついて来ると実感しました。

皆さんも様々な事情の中で勉強されていらっしゃると思います。

決して諦めないでください。この試験は一生懸命やれば必ず合格できるものです。

最後に、今年しかないんだという意気込みで勉強してください。頑張ってください。

宮島先生、ご無沙汰しております。

さて、さっそくですが私なりの学習方法を報告させていただきます。  
(時間の捻出方法に関しては、結婚後のことです。)

## 1. 時間の捻出方法 (平日の場合)

- ・朝勉強する。夜ですと残業や疲れがあるので毎日確保出来ない場合がありますが、朝でしたら間違いなく時間は確保できます。あとは慣れの問題です。
- ・昼休みに勉強する。内勤だったので昼食後は時間を比較的確保しやすかったので 30 分から 40 分は確保できました。
- ・電車の中を利用。やはりこれを利用しない手はないです。
- ・夜は会社帰りに近くファミレスを利用。家に帰ると家族との時間を確保しなければなりませんし、朝勉強しているせいか眠くなってしまうのでファミレスを利用しておりました。場所によってはドリンクが飲み放題なので意外にいいかも…。

結論としましてはやはり世間で言う細切れの時間をうまく利用することだと思います。  
上記方法だけでも 1 日に 3 時間～4 時間は確保出来ました。

## 2. 勉強方法

- ・当り前のようですが、TACの教材と過去問のみ。やはり勉強できる時間が限られていたので、いろいろと手をつけている余裕はありませんでした。
- ・択一式を解く際には「一問一答形式」ではなく必ず「五肢択一方式」にて問題を解いておりました。問題によっては相対評価で正解を選ばなければならない場合があるので、その選択方法を養うことができる等メリットのほうが大きいような気がします。また解答する際は、必ずどこが間違っているかをメモしておりました。(実力テストや答練でもこの用法で行っていたので、先生も見たことがあるかもしれません。) そのメモを電車の中で見たりしたので、結構いい復習にもなりました。

こんにちは●●です。

私は先生が講義の合間や試験直前におっしゃった「注意事項」などのおかげで合格させていただいたので、今、ガイダンスを受けていらっしゃる皆さんも、きっといつか先生のアドバイスに心から感謝する日が来ると思います。

「仕事と勉強の両立」という観点からお話します。

1. 何のために受験するのかをはっきりさせる  
くじけそうになったとき、これは重要なのではないのでしょうか？
2. 勉強時間は細切れでも全然かまわない  
仕事を持っていれば、まとまった時間はなかなかとれません。  
細切れ、OK！その時間に集中すれば、問題ないと思います。
3. 自分にノルマを課す  
私はラスト1ヶ月、自分にノルマを課していました。  
ここまでやらなければ寝ない！と(テキストを広げてうたた寝しましたが…)
4. 書き込みはテキストに  
テキストにノートに、なんてやっていると荷物ばかり増えるし、そもそも電車の中で広げられません。  
私は書き込みはすべてテキストの余白にしていました。  
大きな図表なら、別紙に書いてテキストに貼っておけばOK。  
過去問に出題された個所には、「○問か×問か」「×問ならどういう点で×だったのか」を書き込みました。

それらをチェックするだけでも、過去問の復習になりました。

#### 5. 過去問や問題演習は論点の解説ができるまでやる

過去問や問題演習では、×問がどうして×なのか説明できるようにしました。

これをやっておくと、変化球がきたときにもある程度対応可能のように思います。

なお、過去問は厚くて大きいので、私は科目毎にちぎってバラバラにして、解答とペアで持ち歩きました。

先生は良くご存知と思いますが、私はずっと劣等生でした（笑）

1ヶ月前の模試はボロボロ…答練もヒドイ成績…

でも、本番でできればいいのだから、と思って復習に力をいれました。

もちろん、劣等生をお勧めしているわけではありません。（笑）

ただ、途中うまくいなくても、最後までやってみる価値はある、ということです。

~~~~~

言われて気づきましたが、もう試験の時期なのでですね。

皆様のご成功を祈念しております。

さて「秘訣」募集に一口応募させていただきます。

●TACに決めたら他のものには手を出さない。

隣の芝生は良く見える、といいますが、講義、テキストをきっちりやれば他に手を出す余裕もないはず。

●毎日勉強を継続する。忙しい日は5分でも10分でもいい、気持ちを途切れさせないように。

なにはともあれ、自分の合格を信じてコツコツとやっていくことかと思います。

偉そうに能書きをたれておりますが、ご参考になれば幸いです。

~~~~~

宮島先生、こんばんは、●●です。

勉強を始める前、もともと勉強家でもなく学生時代から法律というものに関わる学科もあえて避けてきたところがあったので、この点で私にはハンディがあるように感じ、社労士の資格など自分に取れるものだろうか？と不安に思っていました。

勉強を始めてからも条文の独特な言い回しに戸惑ったりしていました。

しかしこれは勉強を続けていくうちに徐々に慣れていきました。

私が勉強する上でずっと心がけていたことは

- ・毎日必ず少しでも勉強する
- ・予習（テキストを読み、テキストの演習問題を解く）、  
復習（受けたミニテストはその日のうちに見直す等）を欠かさない  
\*特に予習は必ずしておき、分からなかった部分を講義で集中して聞きました
- ・テスト形式のものは全て手を動かさずに取り組む
- ・過去問を何度も繰り返し解く

という、ものすごく一般的で地道なものでした。

その他自分なりの工夫として効果があったと思われるのは、

テキストで読んだだけでは理解しにくい部分を簡単な図のようにして余白に記入し、  
一目でどういうことが判るようにしていたことでした。

答練や模試では成績順位がわかるので、自分が今どの辺りに位置しているのかを常に意識できたのも私にとってはいい刺激になり、勉強に意欲的に取り組むきっかけを作ってくれました。

先生方に恵まれたおかげで講義も楽しんで受け続けることができたのですが、どうしても勉強が嫌で仕方なくなった時は、「だれに強制されたわけでもない。自分で決めて始めたこと。」と自分自身に言い聞かせ乗り切りました。

以上、これが私の試験突破法になったと思います。  
少しでも皆さんが勉強をしていく上での参考になればよいのですが…。

私の拙い体験談ですが、お役に立つかどうか…

「外でやってから帰宅する」

とにかくうちの中は誘惑が多いものです。寝ようと思えばいつでも寝れるし。

うちに帰ったらあとは「飯食って風呂入って寝るだけ！」にしておいた方がすっきりしますよ。私の場合は、会社帰りの喫茶店で11時に閉店の蛍の光が流れるまで勉強しました。

この方法にはもう一つの利点があります。

朝起きて会社に行くときに「あー、今日は会社を休んで一日勉強したい！」と思うことは皆さんもあると思います。そして会社に着くと、「早く仕事を切り上げて勉強したい！」なんてことばかり考えたりして…そう、会社を出た瞬間が一番ヤル気モードが高いときなのです。

鉄は熱いうちに打て、というか、一番勉強したくてたまらない時にしてしまうのが最も効率の良い方法だと思います。

それを電車に乗って、ご飯食べてお風呂入って…その後勉強しようなどと甘い考えを持っていると、「今日はもう遅いから明日にしよう」とか「眠くなったからこのへんでやめておこう」とか、つい自分を甘やかす方向へ考えがちです。

場所は喫茶店のほか、TACの自習室などいろいろとありますので、やりやすいところでどうぞ！

●●です。こんばんは。(^^)

私の場合、通勤時間が片道90分あったので、この通勤時間を利用して勉強していました。

TACから配布された過去問題集を各科目ごとに切り分けて持ち歩いていました。

最初はせっかくの本をバラバラに解体するのは抵抗があったのですが、バラバラにしてうすくしちゃった方が、気がラクになりました(笑)

分厚い本を見るだけでやる気なくなる人には絶対オススメですよ～

仕事と勉強を両立するって時間が限られてくると思います。

だからこそ、すき間時間を有効に使わないと、時間が足りなくなると思います。

机だけが勉強場所じゃありません。かばんに問題集をしのばせておいて、ちょっと時間があったら目を通すだけでも、かなり頭に入ると思います。

ちなみに私は、平日はほとんど机に座って勉強していませんでした(笑)

宮島先生

土曜日の勉強会には久しぶりに出席しました。

あいにく人数は少なかったのですが、その反面アットホームな雰囲気でもよかったです。

学習法の件ですが、昨年たまたま1年目で合格できたことを振り返ってみると、

①土日に集中的に勉強するより、忙しくても毎日少しずつ勉強する。

(継続は力なり。極端な話では30分でもOK)

②仮に土日に通学講座に通える場合には、予習よりも復習を徹底的にする。

(途中からほとんど予習はやめてしまった)

③通勤時間を活用する。(暗記カードや合格のツボ等)

④最後まで諦めない。(自分はテストで一度も成績優秀者にならなかったし、模試も合格点にはるかに及ばなかった。それに、試験1ヶ月前は心身ともに不調で受験自体を諦めようとも思った。)

⑤もし、夏休みが自由に取れるならば、試験前数日は休んで集中的に問題を解きまくるのが効果的。

(自分は永年表彰休暇も合わせて、直前5日間休みがとれたので、答練を解き直せた。)

⑥最後に最も効果的だったのが宮島先生の講義です。

(問題の解きなおしだけでなく、テキストの読み込みも重要なので、その際に大変役に立ちました。)   
 こんなところでしょうか。何かのご参考になれば。

~~~~~  
 宮島先生

●●と申します。

試験直前の緊張感と合わせて来年の受験生へのガイダンス、大変お疲れのことと思います。
 私は昨年池袋校にて受講させていただき、宮島先生のおかげで1年で合格することができました。

【受験生へのアドバイス、合格体験記】

1. あえて自分を追い込みモチベーションを維持する

勉強を始める際に家族、会社、友人など、周囲の人たちに絶対一発合格宣言をしました。あえて自分を追い込むことで、モチベーションを維持できるし、有言実行すれば何かカッコいいなあ。。。

という思いでの宣言でしたが、自分が思っている以上の周囲からの協力、応援も得ることができ、勉強もしやすい環境を作ることができました。

くじけそうになった時にも、『宣言しちゃったしなあ。』と改めて初心に戻り頑張ることもできました。

2. 時間は意識的に作り出し、学習時間を確保する

仕事をしながらの勉強だったため、まとまった時間の確保が難しかったのですが、細切れ時間を徹底的に勉強にあてました。

通勤電車で行き帰り 30 分ずつ、昼休み 30 分、外回りで歩いているときも講義テープを聞くなど、意識的に勉強時間を作りました。

まさにちりも積もれば…であり、年間でみるとかなりの時間を確保することができたのではないかと思います。また短時間のため集中することもでき質の高い学習ができました。

3. カリキュラムと講師と自分を信じ邁進する

社労士試験は膨大な範囲の中からの出題となるため、どこかで勉強の歯止めをしなければなりません。

私は宮島先生の講義でやったことは確実にする。

しかしそれでダメだったらしょうがないと心中する覚悟を決めました。

特に初学だからこそ、あれこれ手を広げるより、重要なポイントを反復、集中して学習することが確実に点数につながると思います。

自分が信じることができる学校、講師を見つける。また自分を信じ目標に向かい邁進する。その気持ちの強さが全てだと思います。

何だかんだ考えはじめたら長文になってしまいました。すみません・・・

しかし少しでもご参考にしていただければ幸いです。

またメールを打っていると一年前がとても懐かしく、今更ながら宮島先生への感謝の気持ちが、改めて思い起こされます。

昨年の勉強友達も試験直前であり、私も受験生みなさまの健闘を祈っております。

今後も勉強会等で、どうぞよろしくお願いいたします。

~~~~~  
 お疲れ様です。●●です。

自分が宮島先生のクラスを選択した理由としては、

- ①どこまで勉強の範囲を広げれば良いのか不安になるところを、先生の要点をまとめ、分かり易くまとめられた講義と資料の存在
- ②勉強に集中している（気合の入っている）レベルの高い受講生が多く、クラス全体の試験に対する熱意が高かったこと
- ③生徒間のコミュニケーションがあり、互いに刺激しあう事で、モチベーションの維持が図りやすかったこと

の3点が主な部分です。

少しでも役に立てればと思います。

●●です。

早速お力になるれか不明ですが、書かせていただきます。

(1) 一般的にお話できそうなこと

①合格できるか？できないのか？ではなく「合格する」と念じる。

②合格するために何をすべきかを考えて、妥協せずにやりぬく。

③何をすべきかを自分で考えると、やることが星の数ほどあるのでTACや宮島先生の「これをやって」という内容を確実に、コツコツやる。

基本的には、①～③でOKです。

(2) 個人的な工夫としては、

④完全な朝方勉強にした。

会社勤めなので、帰宅時間が定まらない状態でした。帰宅後の勉強をあきらめて、朝2時間確保しました。朝早く起きるコツは、夜早く寝ることです。(私、21時に就寝)

⑤TACの答練、模試は最後まで復習した。

直前2、3日は、答練、模試の復習に集中した。

(3) 宮島クラス的には・・・

⑥デジボ命！

復習時には、テキストより先にデジボ確認！直前期は「デジボにない論点だったら、捨てよう！」と勝手に解釈。

こんな感じでよろしいでしょうか？

参考までに、

私は、理系の大学出身。

勉強開始時の年齢は30歳。

受験時は31歳。

労働法規などは、勉強を始めて、初めて「労働基準法ってこんな風になってるんだあ」と思ったくらいのレベルです。

それでは、不明点あればお尋ねいただければ幸いです。

今日から事務指定講習行ってきました。

社労士は、勉強方法を間違えず、ある一定の時間を確保すれば必ず取れる資格です。

その点、きちんとした無理のないカリキュラムに沿った講義を受けられ、重複受講や振替受講もできるTACはお勧めです。

私は以前、シスアドの資格を取得するときにTACを利用させていただき、無事1回の試験で合格できたので、今回も学校は迷わずTACを選びました。結果はなんと今回も1回で合格です。これもTACの授業にきちんと通ったおかげだと思います。

忙しい社会人や学生の方たちなどは講義に通う時間を捻出するのも大変だと思いますが、可能であれば違う先生を重複受講すると、同じ内容でも異なる説明をしてくださったりするので、より記憶に残りやすかったりするかもしれません。

社労士の資格は非常に奥が深く、取得してからも日々、知識のブラッシュアップが欠かせません。

法律を経営者側からアプローチするのか、労働者側から考えるのかによっても理解や説明の方法が大きく変わります。自分が望めば、単なる書類作成代行にとどまらず、経営コンサル的な企業側からの相談や、対極にある労働者の悩み解決にもおのれるので、とてもやりがいがあり、挑戦しがいのある資格だと思います。

宮島先生

ご返信いただきまして、ありがとうございました。先生が示していたいくつかの内容について書いてみました。使用せずでも、抜粋でも、あとは先生のご判断にお任せします

◇勉強を始めようかどうか・・・

不安があるときの悩みはつきないもので、勉強時間が確保できるか、ちゃんと授業に通えるか、最後までやりきれるか、合格率を考えるとどうだろうか、等々。わたしも様々な要素の間で悩みました。

しかし、せっかく気になって調べだした事を、悩んで、悩んで、結局は消極的な理由からやめてしまう。それは、一度はできた選択肢のその先の機会を、すべて自ら奪っていることになる気がしたのです。

わたしが勉強をして良かったことは、多岐に渡ります。知識を増やすことでいろいろな立場の人と状況に合わせた具体的な会話が可能になる。その後の選択肢がでてくる。自分の適性を知ることができる。どんな方向であれ目的のために努力をしている人の苦労がわかる。社会の動きにある専門的な方向から関心を注ぐことができる等々、きりがありません。

始めたもの勝ち。悩んでいる間に、えいっと申し込みの手続きを済ませて、さっさとテキストを揃えて始めてしまう。そんな潔い人への憧れもあり、わたしは勉強を始めました。

◇どこの学校にしようか・・・

宮島先生のクラスのあるTACがオススメです。

そのクラスに乗って、波に乗りつつ、勉強を進めていくことで合格が射程圏内に入ってきます。

宮島先生は長年のご経験から、具体的な勉強方法のアドバイス、各科目の細かな部分の質問への答え、精神的な不安に対するアドバイス、毎日の勉強スタイル等々、多岐に渡り、受験生に必要なあらゆる情報を与えて下さいます。

そのタイミングは絶妙で、普段からよく生徒の立場に立って、物事を考えてくださっている先生だと感じることができると思います。

それらの言葉は、道しるべとなり、お守りとなり、支えとなり、励みとなり。存在感つよく心に残り、合格への行動を元気にプッシュしてくれます。

信頼を寄せて通うことができるクラスです。信頼関係のある場所には不思議と輪ができるもので、同じ思いをしたもの同士、合格後も集う仲間を得ることもできました。

(あれ？TACというより宮島クラスお薦めになってしまいましたね^^;)

◇自分でも合格できるのか・・・

私にも不安がありました。

けれど、何かをやり遂げようと目標を掲げること。それは人生において数回しかない尊いチャンスです。試験に受かること、それは多大なエネルギーを要することであることに間違いはありませんが、何かを自分の意志によって企てることの尊さに触れ、それに全エネルギーを注ぐ楽しさを味わう貴重な機会です。

是非、覚悟を決めて飛び込んでみてください。そうして乗り越えた経験は、その後も、自分を信じて行動を起こしていける礎となります。

◇合格するための勉強方法

まず場所についてですが、わたしは普段1人でぼけ一つと時間を過ごしてしまうタイプなので、勉強は人の目がある自習室やカフェを利用しました。

自習室では、年下のコたちが頑張っているのを見ては、感心して自分も奮起し、カフェでは気分転換に周囲を眺め、意外と勉強をしている人は多いものだと感じて励みにしました。それから自分なりの気分転換をつくっておくと思います。

わたしの場合は、勉強の合間に音楽を聴いて、自分をポジティブな思考にのせ、勢いをつけることが、とても有効でした。そして、勉強方法で一番大事なことは、勉強スケジュールを立てることです。全科目について、何が何でも取りこぼさないという覚悟をしっかりと決めて組みます。社労士は試験範囲が広いので、本当にこれが分かれば道になると思います。

直前で科目を回しきれずに、今年は無理だと悟るのは本当に惨めです。これだけは、律してがんばってください。

暗記ものも多いので、とくに試験前2ヶ月のスケジュールを確実に回しきることが大切な気がします。季節的にも厳しい時期ですが、栄養ドリンク片手に、決めたところまでは絶対に終わらせるようにしました。

慣れも必要と思ったので、試験時間と同じ時間、机に座り、集中しきることを繰り返していました。

また、これは勉強方法ではありませんが、意外と大事なことで、周囲の理解を得つつ環境を調えることが大事なあと、つくづく思いました。

わたしは、仕事をしながら限られた時間の中での受験だったので、直前期にはさすがに周囲の雑談にもメールにも答えている時間がありませんでした。事情を分かってもらえるように、2ヶ月前から宣言して、理解をもらいました。それはそれで、協力的に振る舞ってくれるよい友人が見えてくる期間になりました。勉強期間中は、いろいろな障害がふりかかってくると思うのですが、自分が集中できる環境を作りながら、試験に望むのが大事だと思います。

以上つたない文章に目を通して頂いてありがとうございました。

~~~~~  
宮島先生

お久しぶりです。2012年合格の●●といいます。
DVD通信での合格ですが、体験記を書かせて頂きます。

私は、仕事の関係から通学ではなくDVD通信講座を選びました。それまで社労士の社の字も知らないくらいの素人の状態から11ヶ月で一発合格を果たしました。

なぜ1年もかからず一発合格できたかと言えば、それは宮島先生の「授業の質」に尽きると思います。宮島先生は「どう説明したら生徒が理解できるか」ということに命を懸けています。その「授業の質」の高さの証拠に、私はDVD通信講座でしたが質問電話も質問メールも一度もしたことがありません。記録を調べてもらっても結構です。なぜなら、質問をする必要がなかったからです。

これから学校を選ぶにあたり、重視すべきは「授業の質」だと思います。どの学校のどの先生を選んでも、最終的に自分が理解できれば合格できます。そして一度も質問をしなくても合格できる程完成度の高い授業をされ、それでも日々より良い授業のために弛まぬ努力をされている宮島先生の講座を強く推薦します。

1年前を思い出すと、本当に昨年合格できてよかったとしみじみ思います。宮島先生のおかげです。ありがとうございます。また、懇親会等でお目にかかるのを楽しみにしていますね。これからも先生の講義を応援しています。

~~~~~  
宮島先生

ご無沙汰しております。12●●です。合格体験記を下記に記します。ご査収ください。

“世間に認められる資格を取ることで、人事労務領域における自身の市場価値を高め、社会にインパクトを与える仕事がしたい”、これが社労士受験を志した理由です。やるからには一発で合格する、そう心に決め、いろいろな学校を比較しましたが、フォロー制度が充実していること、都内各所に拠点があり交通の便がいいこと、合格者数が多いことが決め手となり、TACを選びました。宮島先生のクラスを選んだのは本当に偶然だったのですが、先生はややもすると難解で取っつきにくい法律をまるでドラマを見せるように教えてくれ、本当に楽しく勉強ができ、とても感謝しています。クラスの懇親会で友人もたくさんできて、辛い時もお互い励まし合いながら切磋琢磨できたことが一発合格につながったように思います。合格後は社労士資格を活かして希望の会社に転職することができ、現在はやりたい仕事に打ち込める忙しくも恵まれた毎日を送っています。また、TAC仲間とは合格後も交流が続いており、一生付き合える関係を築いています。大

袈裟ではなく、私はTACの門を潜って、人生が良い方向に開けたと思っています。家庭や仕事など、ハンディキャップの全くない人などいません。ハンデを乗り越えて掴む勝利にこそ価値があると思います。これから社労士を志す人は、自ら勇気をもってはじめの一步を踏み出し、幸せを勝ち取ってください！

~~~~~

宮島先生、こんにちは。12合格者としての応援メッセージを送ります。

TACは、講師、教材、フォロー、自習室全てが充実しています。私は土日通学しました。私は、仕事もしているのですが土日のいずれかが潰れてしまうため、通学中はかなり制約されたいましたが、やはりやるしかないと思ひて通学することに決めました。ただ、勉強期間中はすごく生活のメリハリがありました。

私は、合格するまでに4年もかかったので、辛い時期もありましたが最後まで熱意が溢れる宮島先生のクラスでがんばりました。やる気がでないとき、宮島先生に相談したら、真剣にアドバイスをしてくれたことも思い出します。

そんなこともあり悔しい思いをした分だけ、合格したときに流した涙は今でも忘れられません。また、通学することで同じ目標を持った仲間とたくさん出会えたことも一生の宝物です。

~~~~~